

2026 年 7 月 6 日

株式会社マーキュリアホールディングス
(コード番号：7347 東証プライム)

北京にて日本政策投資銀行と共同で フォーラム「AI が拓く産業の新ビジョン」を開催いたしました

株式会社マーキュリアホールディングス（以下、「当社」）は 2026 年 5 月 28 日、北京華貿リッツ・カールトンホテルにおいて、株式会社日本政策投資銀行（以下、「DBJ」）との共催により、テーマフォーラム「AI が拓く産業の新ビジョン」を開催いたしました。

本フォーラムは、AI 技術の進化により、産業が「デジタル化」から「スマート化」へと移行する中、中国に展開する日系企業が、AI をいかに事業成長、業務効率化、組織能力の高度化につなげるかを議論することを目的に開催したものです。当日は、AI 技術企業、AI トレーニングプラットフォーム、金融機関、事業会社、投資家等の関係者が参加し、小売、製造、金融、サービス等の産業領域における AI の実装可能性について意見交換を行いました。



【イベント内容】

基調講演では、北京中関村科金技术有限公司 ゼネラルマネージャーの喻友平氏より、「企業における DX の現状と課題」をテーマに、企業向け AI エージェントやデジタル従業員の実装事例についてご講演いただきました。

また、UMU（日本法人：ユームテクノロジージャパン株式会社）創業者兼 CEO の李東朔氏より、「AI 能力の向上による組織と人材の高度化」をテーマに、AI を活用した従業員研修、組織能力の向上、ならびに AI と人材育成を連動させた企業変革の可能性についてご講演いただきました。



北京中关村科金技术有限公司 ゼネラルマネージャー 喻友平氏



UMU 創業者兼 CEO 李東朔氏

パネルディスカッションでは、「AI は真のビジネス価値を創造するのか ～AI 導入の障壁、成功体験と人材育成」をテーマに、三井住友信託銀行株式会社 中国業務首席戦略官の八田健氏、馬上消費金融 常務副総経理の蔣寧氏、藍馳創投 パートナーの刘吉氏、富士通（中国）情報システム有限公司 CEO 室長の松野雅文氏が登壇し、当社中国業務責任者の許曉林がモデレーターを務めました。



パネルディスカッション風景

ディスカッションでは、AI 導入における信頼性・安全性・ガバナンス、日本企業が AI ベンダーを選定する際の判断基準、PoC から本格導入に移行する際の課題、AI 研修を通じた人材能力の向上、中国の技術力と日本企業のチャネル・信頼を組み合わせた協業モデル等について、多角的な議論が行われました。また、工場自動化、精密製造、高齢化社会への対応等、いわゆる「Physical AI」の実業への応用可能性についても意見が交わされました。

当社グループは、今後も日本、中国を含むアジア地域において、産業、技術、資本をつなぐ取り組みを推進し、企業の成長支援および新たな事業機会の創出に努めてまいります。

以上

【フォーラム概要】

日時：2026 年 5 月 28 日（木）

会場：北京華貿リッツ・カールトンホテル

対象：中国における日系企業、AI・DX 有識者

形式：基調講演・パネルディスカッション・懇親会

主催：当社、DBJ 後援：政投銀投資諮詢（北京）有限公司

【主なプログラム】

基調講演Ⅰ：企業における DX の現状と課題

登壇者：北京中関村科金技術有限公司 ゼネラルマネージャー 喻友平氏

基調講演Ⅱ：AI 能力の向上による組織と人材の高度化

登壇者：UMU 創業者兼 CEO 李東朔氏

パネルディスカッション：AI は真のビジネス価値を創造するのか～AI 導入の障壁、成功体験と人材育成

登壇者：八田健氏（三井住友信託銀行株式会社）、蔣寧氏（馬上消費金融）、刘吉氏（藍馳創投）、松野雅文氏（富士通（中国）情報システム有限公司）

モデレーター：許曉林（当社）

【マーキュリアホールディングスの概要】

会社名：株式会社マーキュリアホールディングス

本社所在地：東京都千代田区内幸町 1 丁目 3 番 3 号 内幸町ダイビル

事業内容：持株会社

代表者：代表取締役 豊島 俊弘

ウェブサイト：<https://www.mercuria.jp/>

私たちは「ファンドの力で、日本の今を変える」をミッションとし、事業を行っています。

※本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社マーキュリアホールディングス

事業企画部

e-mail：info@mercuria-hd.jp